

令和6年度 総合教育会議議事録

- 会議日時 令和7年2月26日（水）午後4時
- 会議場所 根羽村役場 第1、第2会議室
- 出席者 村長：大久保憲一、教育長：柳瀬賢司、教育長職務代理者：石原久明、
教育委員：片桐光代、小澤寛樹、石原八重子、根羽学園校長：馬島高志、
根羽村保育所長：松下剛樹、事務局：石森智（総務学校教育係長）

1. 開会

2. 村長挨拶

（村長）県では学びの円卓会議が開催されており、私も理事を務めています。Toco-tonでは当村も採択されました。今まで以上に子ども達が学べる環境が整うとよいと思っています。村でも学びの村づくりを実施しており、子どもと大人の学びを発展させていきたいと考えています。今日は色々な議論がなされると良いなと思っています。本日はよろしくお願いします。

3. 議事事項

なし

4. 協議事項（議長：教育長）

（1）「新たな学びの創造研修会」反省

（教育長）Toco-tonを来年度から始めるに当たって、保護者、教員、教育関係者が話し合いを行う、「新たな学びの創造研修会」が先日行われました。保護者からは、子ども達の未来について話し合いができて楽しかった、授業参観日の時間に開催して普段話す機会が少ない方達と話し合いができてよかった、保護者が学校に対して色々言うのではなく、一緒に考えられたのがよかった等の意見が出ました。先生達からも、事前に教師がお試しで授業ができるような仕組みがあると良いといった前向きな意見が出ました。保護者には楽しんで参加してもらえると良いと思って開催して、楽しんでいただけた意見が結構あったので、嬉しく思います。学ぶ意味や学ぶ楽しさを学ぶことを願うといった意見もありました。

（委員）会場は楽しかったですが、今後の学校運営にどういうふうに繋がっていくかが難しいところもあるかなと感じました。

（教育長）その辺りは2回目、3回目で考えていきたいと思っていますが、初回の今回は楽しい時を過ごしてもらえてよかったと思っています。

（委員）蛇口から牛乳が出る学校といった斬新な意見も出てよかった。みんな楽しんでいる様子でよかったです。

（委員）お父さんお母さんたちはこんなことを考えているんだなと聞いたのがよかった。とにかく色々な話ができてよかったです。

（委員）私達の時代とは違うと感じましたが、今まで以上の教育ができると良いなと思います。

（教育長）いただいたご意見をもとに頑張っていきたいと思っています。

（村長）Toco-tonをやるには、学校側で対応することもあるし、少しずつ進めて行ければ良いと思います。3年間掛けてじっくりやっていきたい。売木、平谷とも情報交換をしながら進めていきたいと思っています。

（2）根羽村教育大綱試案

（教育長）（資料に沿って説明）「根基」は共通認識にしたいと思っています。学びの村づくりを進めるために、子どもも大人も混ざり合って学んでいきたいと考えています。子どもも大人も全ての人が森とともに。ここで言う「学び」はユネスコの宣言で載せてあります。根羽村発の中山間地域の学びのモデルを作っていきたいと思っています。子どもの視点も大事です。社会

教育分野も大事です。村で暮らす全ての人たちが学びを通じて関係を深めていく、学びの村づくりへ。これを案として検討していきたいと思っています。子どもの学びをまんなかというところと学校が小さいからといって決して劣っていることはないということ、根羽に自信を持って欲しいと言うこと、それらを大事にしていきたいと思っています。皆様、ご意見いかがでしょうか。

（村長）前回の教育大綱もそうだったが、教育大綱には学校をどうしていこうかという内容のものが多く、今回のものは村全体の学びの大綱になっているのが良いと思う。

（教育長）村長からご意見をいただいたので、村全体で考えていきたいと思っています。

（委員）大綱は村全体で考えるということで良いと思う。ハードルは高くなるかもしれませんが。

（３）根羽学園１年間の取組について

（校長）（資料に沿って説明）学校評価アンケートの記述部分を示しました。学力に不安があるという意見には、認知能力と非認知能力があるという話をさせてもらいました。非認知能力が認知能力の基盤になるので、先生達にもこの授業では何を伸ばすのかということを明確にして授業に取り組んでもらっています。先生達にもそういうことを理解してもらっています。また、学校の情報をいち早く発信し理解してもらうことが大事ですし、学校に来づらい子どもには安心して過ごせる場所を確保したいと思っています。少人数の良さを活かしていきたいと思っています。魚釣り大会といった行事は、この時代、先生方から意見が上がってくることもあるかもしれませんが、根羽ならではの活動を大事にしていきたいと思っています。学年を越えた授業や行事も大事にしていきたいです。適応が難しい子どもへの対応が手厚く、保育所から丁寧に対応してもらっており、ありがたいと感じています。教育目標は来年度も「自立」でいきたいと思っています。重点目標は記載のとおりですが、子どもたちの心におちるものに校長の方で考えているところです。年長児がいないことと来年度の親子留学の新規留学生がゼロであることは残念に感じています。教科担任制はさらに強化していきたいと思っています。また、新たな学びに個別最適な学びを入れたいと考えています。自由進度学習を進めて欲しいと校長が話すよりも、実際にやっている先生の授業を見てもらってボトムアップをするのが良いと感じています。前期後期みんなが活躍できる場を増やしていきたいと思っています。また、複数学年で合同授業を積極的に取り入れたいと思っていて、今のところ、合同での道徳の授業をやりたいと考えています。軽井沢の風越学園での視察がヒントになりました。風越学園の全てを受け入れることはできませんが、根羽だからやりやすい部分もあると思っています。学校としてのビジョンを持つことが大事だと思っています。先生達は慎重な部分もあります。Toco-tonについて、最初は何をやるんだろうという警戒心がありましたが、先日のキックオフミーティングは先生達にとってもよかったと思っています。先生達も笑顔に溢れていました。

（教育長）ご意見いかがでしょうか。

（委員）新しい取組を色々やっていることは良いと思います。先生達のこととも考えていきたいという話もあったので、良かったと思っています。非認知能力も大事だと思いますが、我々はどうしても認知能力の方に頭がいきってしまいます。ぜひ非認知能力も伸ばしていって欲しいと思います。

（教育長）学力が何なのかは保護者にも考えて欲しいと思っています。良い指摘をしていただいたと思っています。

（村長）学年の枠を超えた学びは良いと思います。風越学園もそうでした。複数学年で道徳は良いと思います。合同授業で勉強になる部分は多いと思います。

（委員）もっと地域の人に学校に入ってほしいと思っています。給食の時間など。地域のおじいちゃんおばあちゃんなど誰でもいいと思いますが。

（教育長）保護者と一緒の給食の日の参加範囲を拡大しても良いかもしれませんね。

（委員）学校は敷居が高いと思っている人も多いので、その辺も変えられたらいいなと思います。

（委員）読み聞かせの会は怎么样了か。

（校長）今でも読み聞かせをやっていますが、回数を増やしたりしてもいいと思っています。私自身、意外と敷居が高い学校だなと感じています。

（教育長）きっかけ作りが大事だと思っています。何かの行事などと絡められると良いなと思います。校長先生もご検討ください。

（委員）傾聴ボランティアも良いと思います。お互いを認め合うことも傾聴でやっているのです。子ども達の良い学びになると思います。

（教育長）異年齢でやるなどの工夫も必要かなと思います。

（４）根羽村保育所１年間の取組について

（保育所長）（資料に沿って説明）現在の在園児は 20 名です。今年度の主な活動はやま保育活動です。中山間地の地域に愛着を持つことを目的にしています。コンテンツにしてイベントとして実施しました。保護者によっては、怪我はしないで欲しい、しつけをしっかりしてほしい等の希望もありますが、根羽村ならでの学び、体験ということで組み入れています。雪山体験も事前に下見をして危険性をしっかり確認して実施しています。来年度も４月からやっていきたいと思っています。子ども達が楽しんでいるのが何よりよかったと思っています。「信州やまほいくの郷」にアップしているので、よかったら見てください。畑活動で育てた野菜を mozo ワンダーシティで年中の子ども達が実際に自分達で販売までしました。運動教室は前に学校にいた体育教諭に依頼しています。子ども達の動作をしっかり見て指導をしてくれています。プール、縄跳び、跳び箱等をやってもらっています。その他に、親子運動教室、親子お絵描き教室など、親子の触れ合いも大事にしています。保護者からは色んな行事をやってもらってありがたいという意見をいただいています。子ども達も課題に対して能動的に考えることができるようになってきました。野菜販売については、年中児が役場やジーエスエレテック等でも販売することができ、企業からお金の受け取り方が上から受け取ったら失礼になるよという指摘をもらったところ、子ども達自身でトレイを使って受け取るということを考えることができました。保育所も行きづらい、敷居が高いという感覚もあると思うので、待っているよりも、こちらから出かけていこうと思い、そういう活動を増やしています。畑活動をやらせてもらったり、有閑荘に出掛けたり、土雛を見に行ったり、蕎麦打ちの見学にきて食べていいよ等と言われたりもしています。手作りおやつを作る日を増やしたりもしています。先生達がお便りでレシピを付けたりもしています。保育所で一週間の様子の動画を流すこともしています。例えばおやつを食べている様子を放映すると、保護者も子ども達がどんな表情で、どんな格好で、どんな食べ方をしているのか分かります。その他にも目的を持った動画放映をしています。来年度は、特性を学校に伝えて、連携して切れ目のない支援をしていく必要があると感じています。先日、未来の子ども達について、先生達と考えました。待機児童をなくすために、園を増やしているところもありますが、数年後には、少子化により、廃園する園も出てきます。根羽村においては分母が小さいので、少子化が進むのも早いと言う話をしました。どういう子どもだったら子どもを預けたい園になれるかを先生に聞いてみました。園で対応すること、保護者に協力してもらうこと等に分けて考えてみました。今後は保育所でも学校と同様に保護者を交えて考えていきたいと考えています。

（委員）小さいうちから野菜の物販ができるのは良い経験になったことと思います。なかなかできませんよね。

（村長）そのお金でＴシャツを買って、自分たちでデザインしたことも良かったと思います。

（教育長）小さいうちから非認知能力を養ってもらっているのはとても良いと思います。

（村長）保護者から通わせたい保育所を考えることに可能性があると思います。色々なことに挑戦するのが大事だと思います。

５．報告事項

（１）軽井沢風越学園視察研修（２月４日（火）軽井沢町）

（教育長）（資料に沿って説明）基本はテーマプロジェクト、マイプロジェクト、ホームベース、チームプロジェクトです。今までの経験からするとカルチャーショックを受ける学校でありました。服装も自由、髪型も自由です。詳しくは資料をご覧くださいと思います。

（２）信州学び円卓会議 学園生徒引率全 10 名で参加（２月 10 日（月）長野市）

（教育長）パネルディスカッションがあつて、子ども同志の対話があつてという会でした。教育関係者で理想の学校を話し合う時間もあり、実りの多い会となりました。こちらでも詳しくは資料をご覧くださいいただければと思います。

（３）部活動の地域クラブへの移行について（会議報告）

（教育長）続いて、部活動の地域クラブへの移行について、先日飯伊地区の情報交換会があったので、会議の報告を事務局からお願いします。

（事務局）（資料に沿って説明）会議には県の方も来ており、県では令和８年度末を目途に休日についての移行完了を目指し、平日はできるところから移行を進め、難しい場合でも勤務時間外の部活動指導を減らす工夫を検討・実施する方針とのことでした。明らかになってきた課題として、受け皿不足、財源の見通し不足、人材不足、指導者の質の担保、関心・理解不足、事例不足等が挙げられます。県の指導者リストに登録している指導者もあり、現在の登録者数は 275 名で、30 代から 60 代が多いようです。市町村で必要な主な取組みとしては、体制整備、学校等施設の活用方法、財源の確保、地域課題の研究が挙げられます。現在では部活動の「地域移行」ではなく「地域展開」と呼ばれています。最後にグループでの情報交換の時間があり、先進の飯田市から、指導者の確保や謝金、財源について情報共有をしていただきました。

（教育長）学校ではどのように考えていますか。

（校長）波に乗り遅れてはいますが、来年度中には方向性を示していきたいと思っています。そもそも部活動が必要なのかというところから話し合っていきたいと思っています。子ども達のニーズも聞きながら進めていきたいと考えています。

（教育長）村としても来年度まずは組織をしっかり作っていききたいと思っています。組織の中でしっかり話し合いをしていききたいと考えています。

（教育長）最後に村長からお言葉をお願いいたします。

（村長）今回の総合教育会議では、皆さんの色々な意見が聞けて非常に実りのある会になったと思います。今回の意見を活かしてより良い教育を目指していってもらいたいと思います。本日はありがとうございました。

6. その他

（１）議事録署名

（教育長）最後に教育委員の皆様は 1 月分の会議録の署名をお願いします。

（出席委員全員が内容を確認し、署名）

（２）3 月定例教育委員会開催日 3 月 13 日（木）午後 3 時 30 分

7. 閉会

午後 5 時 15 分閉会